

# 英語の勉強法

中部大生の皆さまこんにちは、万字屋風です。

さて、第3回目のコラムにいただいたテーマは「英語の学習法」。ガクシュウホウ？前回のリラックス法とはだいぶ...方向性が違いますね...（慌）。参考になるかはわかりませんが、私もやっていたちょっと変わり種の勉強法のひとつをご紹介します。それは「押し例文で覚えること」。

例文を覚えるのはもちろん有効な勉強法なのですが、「暗記」になるとどーも億劫で面白くない。そこで、押し（好きなキャラクター、アイドル等々）を例文に絡めてみるという勉強法です。

試しに手もとにある英語本から例文をひとつ。

**Fortunately, human beings are not so thoughtless.**

（幸いなことに、人間はそんなに無分別ではない）

うん、まあ、これでもいいんですけどね、面白くないですね（失礼）。これを膨らませつつマンガのワンシーンのようにしてみましょう。

**Giyu said, "Fortunately, Zen-itsu is not so thoughtless."**

**"Hey, Tomioka-san! What do you mean !?" Zen-itsu cried.**

（「幸いなことに、善逸はそこまで無分別ではない」と義勇は言った。  
「ちょ、富岡さん！どういう意味ですかそれ！？」善逸は泣いた。）

まあ、ここまではちやける必要はないです。あまり膨らませ過ぎると誤った文法で作文してしまうこともありますので（この例文も正しいかどうか微妙です。色んな意味で）。

ただ、「押し例文」を作ることで語彙と文法だけでなく、英作文力を少しずつつけることができると思います。

そして、大学の図書館が使えるようになったら英語多読のコーナーを見てください。中部大学の蔵書には有名な洋画（パイレーツ・オブ・カリビアンなど）のシナリオが平易な英語で読めるタイプの本が多く並んでいます。薄くて気軽に読めますし、もちろん図書館なのでタダ。ぶっちゃけうらやましいです。学生のときもっと読めばよかった！！（万字屋、心の叫び）

ともあれ、何かを好きという気持ちはそれだけで大きな強みです。それを勉強や悩みの解消に応用することができればこれほど頼もしいものもないので、ぜひ自分の「好き」を人生の重りではなく武器にして学生生活を謳歌してください。